The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	〈講演要旨・翻訳〉
Author(s)	江川, 隆子
Citation	大阪大学看護学雑誌. 1995, 1(1), p. 45-45
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56806
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

〈講演要旨〉

アメリカにおける看護学大学院教育

アメリカ看護協会は看護婦になるためには、最低、看護学士をもつことを提案してきましたが、実現していません。その中で、北ダコタ州だけが看護婦になるためには看護学士号をもつことを義務づけています。私が住んでいる、ミネソタ州では、1980年の初頭ですでに、3年制課程を卒業する学生は8.5%にしか達していない状態です。現在、アメリカでは234の修士課程があります。これらの多くは、1960年の後半から1970年の初めにかけて、政府の助成金が豊富であった頃に発展しました。

初期の看護学修士教育は、教育者や管理者を育成することが目的でした。現在では、臨床看護婦であるCNSやNPの養成へとその役割が変化しています。

修士課程は2つのタイプの看護婦を育成するために創設されています。一般的な専門看護婦（functional preparation）と臨床専門看護婦（clinical specialization）です。CSに含まれるCNSとNPについては、アメリカ看護協会は次のように定義しています。

CNSとは、正看護婦であり、修士課程または博士課程での学習や臨床実習を終了し、選択した看護の臨床分野に対する知識や実践のエキスパートになることです。

NPとは、正看護婦であり、看護修士課程教育を受け、あらゆる場面で患者やその家族のためのプライマリ・ヘルスケアを提供することです。また、地域住民の健康問題や管理に関する幅広い知識を持ち、それらを処理する役割をもっていることです。

NPは、修士課程を終了した後に看護協会の資格センターが実施している認定試験を受験して、NPの認定を受けなくてはなりません。この認定を持っていないと、自分が行った看護行為に対して保険の返済を受けることができません。CNSには特に認定を受ける義務はありません。

NPやCNSに加えて、助産婦と麻酔看護婦の専門看護婦があります。これらの専門看護婦が修士課程で教育されるようになったのは、ごく最近のことです。

これらの看護専門看護婦のための修士課程の一般化されカリキュラムはありませんが、NPや助産婦、麻酔看護婦のプログラムがCNSより多くの単位を要求されています。ミネソタ大学でも老人領域のCNSは48単位、NPの学生は54単位が要求されています。表－1は、ミネソタ大学における修士課程（例：老人看護学専攻）カリキュラムの例です。

表－1　ミネソタ大学における修士課程
—老人看護学専攻—

講　義	臨床実習
1　高齢者に対するケアⅠ：身体生理的概念	1　高齢者に対するアセスメント
2　高齢者に対するケアⅡ：心理社会的概念	2　高齢者に対する看護ケアⅠ
3　高齢者に対する看護アセスメント：アセスメントと管理	3　高齢者に対する看護援助Ⅱ
4　上級の老人看護学実技における専門的な問題	4　上級の実技
5　高齢者に対する薬物療法	

（文責：江川隆子）